

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	見初自主防災会・見初自治会連合会・見初地域づくり協議会 等	
事業名	1	防災強化事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 防災関係備品の充実 ・ 防災組織の改善 ・ 児童との合同訓練の開催 ・ 防災知識等の研修の実施 ・ 全地区民対象の啓発チラシ作成・配布	・ 非常食、救急用品等の買い替え。 ・ 10月に見初小学校との合同防災訓練 ・ 9月に「ハザードマップ」研修会開催 ・ 「自主避難」に関するチラシを作成、配布
	事業対象者	自主防災役員・全地区民
	参加者数（人）	100（延べ） 約150名（延べ）
	事業効果	防災意識の向上と共に、災害時の準備をすることで、万が一の時の様々な被害の減少が期待される。 防災意識の向上が図れた。また、「自主避難」時の在り方のチラシを作成、全世帯に配布したことで、「自主避難」時に若干あった混乱がある程度減少。
	事業期間	令和5年4月～令和6年3月 令和5年4月～令和6年3月
	予算額/決算額（円）	200,000 136,904
	助成金充当額（円）	100,000 100,000
主な事業指標	指標名	研修会等参加人数 等
	目標値/実績値	100（延べ） 延べ 約150名（延べ）
	達成・未達成の要因	【達成】 ・ 地区のある程度の情報を把握し、それに応じた活動を行ったこと。 【未達成】 ・ 予算が少ないこと。地域づくり協議会助成金も得ているが、地域づくりの全体的な予算も厳しいので、自主防災に回せる助成金も限られている。活動内容も低予算に応じたことしかできなかった。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	1
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	見初地域づくり協議会、スポーツ振興委員協議会、子ども委員会、ふれあい親和会 等	
事業名	2	健康づくり事業

項目	計画	実績
事業内容	・見初地区健康プランの実施 ・地区民及び高齢者の「適度な運動」の日常化に関する事業の実施 ・地区民の交流の促進を図り、WHOの健康の定義に則った「健康づくり」事業の実施 等	・「見初健康プラン」に関して、毎月1回発行の「見初だより」や「健康福祉部会」等で周知。 ・ふれあいセンター等で開催される「運動」に関わる事業への参加者をカウント。 ・コミュニケーションの場となるように、地域の事業に「楽しさ」を意識的に追求。 ・「見初40区カフェ」を新規に開催。また、その中で「認知症カフェ」も開催。
事業対象者	地区住民	
参加者数（人）	500（延べ）	約1000（延べ）
事業効果	・WHOの健康の定義にあるように、単に「『病気でない』とか『病弱でない』から健康である」という考えでなく、「WHOの定義」に基づく「健康づくり」を地区の中に日常化し、より豊かに生きる気持の醸成を育むことが期待できる。	行事をただ実施すればよい、という姿勢ではなく、行事への参加をきっかけに「また、このような場に参加したい」と思える行事を追及したことにより、参加者は年々増加している。そして、「楽しかった」という雰囲気・言葉も増加している。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	1,100,000	1,277,997
助成金充当額（円）	450,000	450,000

主な事業指標	指標名	行事参加者及び行事スタッフ人数を昨年度	
	目標値/実績値	昨年度の1.2倍	達成している
	達成・未達成の要因	【達成】 ・上記にも記入しているが、行事を開催する根本的な価値観に基づきスタッフがある程度活動に取り組んだこと。 【未達成】 ・スタッフ全体に情報や「価値観」が行き届かず、混乱した行事もあった。それは、一部のスタッフに仕事が重なる体制の問題であった。	

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	見初地域づくり協議会、見初小学校育友会	
事業名	3	小中学校との連携事業

項目	計画	実績
事業内容	「やまぐち型地域連携教育」関係事業の実施	「やまぐち型地域連携教育」を、小中学校「学校運営協議会」を中心に実施できた。小中学生のかかわりは昨年度よりも多く、深かった。
	事業対象者	小中学校関係者及び全地区住民
	参加者数（人）	600（延べ） 約700人（延べ）
	事業効果	・小中学校とも昨年度よりも子どもたちは落ち着き、地域とのかかわりも深くなった。 ・保護者の組織である、育友会及びPTAと地域のかかわりが、昨年度よりも親密になった。
	事業期間	令和5年4月～令和6年3月 令和5年4月～令和6年3月
	予算額/決算額（円）	400,000 445,544
	助成金充当額（円）	300,000 300,000
主な事業指標	指標名	小中学生及びその保護者の地区事業への参加数
	目標値/実績値	300 約700人（延べ）
	達成・未達成の要因	【達成】 ・関係者同士の話し合いが深くなり、意思疎通が昨年度よりも深くなったこと。 【未達成】 ・様々な要因で、子どもが関係事業に事前に関わり、スタッフとして事業に参加する状況が浅い。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	見初地域づくり協議会、自治会連合会、子ども委員会、母子保健推進委員会	
事業名	4	課題解決・活性化事業
項目	計画	実績
事業内容	・子どもや若者。子育て世代が参加したくなる、また参加しやすい事業の実施。 ・住みやすい地区としてのアピール活動の実施	・子どもや保護者に関わる各種事業を実施（ヨチヨチランド、新一年生を迎える会等）
事業対象者	地区全住民	
参加者数（人）	100	約550人（延べ）
事業効果	子育ての支援、若者の「ふるさとへの愛着」、「孤立化」の防止活動を実施する中で、一層「住みやすい地域」の認知の向上を図ることで、将来的には子育て世代を含めた住民増が期待される。	・毎月「ヨチヨチランド」を開催したり、見初地区では地域で新一年生を迎える会を実施し、小学校入学前から保護者と共に学び、「子育てしやすい地域」づくりを目指している。その過程で、子育て中の保護者が地域活動に参加する状況も増えている。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	150,000	241,483
助成金充当額（円）	56,300	56,300
主 な 事 業 指 標	指標名	小中学生及び子育て世代
	目標値/実績値	400（延べ） （達成）約550人（延べ）
	達成・未達成の要因	【達成】 ・様々な事業を通じて人間関係が深まるような取り組みを行ったこと。 【未達成】 ・まだまだ、児童・生徒の保護者に地域の思いが伝わっておらず、不参加の保護者もそれなりに多い。
実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	社会福祉協議会、民生児童委員協議会、ふれあい親和会	
事業名	5	高齢者福祉事業

項目	計画	実績
事業内容	・長寿お祝い活動の実施 ・高齢者交流活動としての「昼食会」の実施 ・合同慰霊祭の実施 ・各種ふれあいサロンの実施	・88歳の米寿のお祝いをするために、自治会長が各自治会で情報を集め米寿の方を探し出し、「長寿のお祝い」を実施。 ・合同慰霊祭、ふれあい昼食会等を実施。
事業対象者	地区在住高齢者	
参加者数（人）	200	約400（延べ）
事業効果	長寿のお祝いを地区で行うことで、「長寿の喜び」を実感すると共に、高齢者同士がふれあう機会を設定することで「高齢化地域としての見初」の活性化が期待できる	・関係者の努力で「長寿のお祝い」ができるなど、計画した事業を開催することで、より一層人間関係も深まり、地域の活性化も一層図られた。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	350,000	386,295
助成金充当額（円）	137,400	137,400
主な事業指標	指標名	地区在住高齢者（延べ）
	目標値/実績値	300
	達成・未達成の要因	【達成】 ・関係団体及び関係の公的な団体との連携強化による。 【未達成】 ・地域の事業に参加する人は参加するが、参加しない人は参加しないなど、2極化している。参加しない人への働きかけの工夫が必要。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	環境衛生連合会見初支部、交通安全推進委員会、防犯連絡所指導員協議会、ふれあい運動推進委員会 等	
事業名	6	快適環境づくり事業

項目	計画	実績
事業内容	・防犯灯設置・取り替え支援活動 ・地区内環境美化活動 ・交通安全活動の実施 ・児童の見守り活動の実施 ・防犯活動の実施	・防犯灯は5灯の交換に助成。 ・環境美化活動は、100名を超える参加者で地区を美化。 ・児童の見守り活動や交通安全運動は定期的に実施。
事業対象者	全地区民	
参加者数（人）	300（延べ）	約450名（延べ）
事業効果	「安全・安心をベースにした生活しやすい地域」の認知向上により、居住者のコミュニケーションが豊かになると同時に、将来的には居住者の増加に繋がる可能性が期待される。	・地区内では大きな事故等もなかった。また、定期的な見守り活動や交差点での交通安全運動は、児童の保護者からも感謝されている。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	200,000	389,456
助成金充当額（円）	0	0
主な事業指標	指標名	運営スタッフ
	目標値/実績値	昨年度比1.3%増 約450名（延べ）
	達成・未達成の要因	【達成】 ・会長を中心に役員の働きかけで、団体メンバーの参加状況は向上し、事業の活動は向上した。 【未達成】 ・以前からの課題であった高齢化の問題は相変わらずである。事業の継続に黄信号がともっている。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	2

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	見初地域づくり協議会、ふれあい親和会、子ども委員会、おーるうえーず	
事業名	7	三世代交流事業

項目	計画	実績
事業内容	・ 伝統行事・あそびの実施 ・ 夏まつり行事の実施 ・ 見守り活動の実施 ・ 農業活動の実施	計画していた事業は全て実施。そして、参加者は、それぞれ増加している。
事業対象者	地区全住民	
参加者数（人）	400	約500名（延べ）
事業効果	三世代の交流が深まることでより一層住みやすい地域となり、地域居住者増が期待できる。	地区の雰囲気は、感覚ではあるが少しずつ良くなっている。そのような雰囲気を感じてか、「見初地区を選択」した子どもがいる世帯が、わかっているだけで2世帯ある。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	300,000	468,358
助成金充当額（円）	61,500	61,500
主な事業指標	指標名	行事参加者
	目標値/実績値	延べ参加者400以上 約500名（延べ）
	達成・未達成の要因	【達成】 ・ スタッフの熱意により、事業は毎年継続している。 【未達成】 ・ スタッフの輪は若干広がっているが、子育て世代への輪がまだまだ不十分。一層の検討が必要。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3

地域創生事業助成金 実施計画書兼実績報告書（事業別）
（地域活動支援事業及び地域計画推進事業）

事業実施団体	見初地域づくり協議会	
事業名	8	広報事業

項目	計画	実績
事業内容	毎月1回の「見初だより」の発行	毎月1回の発行は達成。そして、毎回の記事も地区の各種事業をほぼ網羅できた。
事業対象者	地区全住民	
参加者数（人）	50（延べ）	約60（延べ）
事業効果	地域のことをより深く認知してもらうことで、地区の各行事への参加増及び地区への愛着の深まりが期待される。	「見初だより」を「読んでみようかな」と思わせる紙面づくりを意識して作成している。それにより、地区民に徐々に見る人が増加している。
事業期間	令和5年4月～令和6年3月	令和5年4月～令和6年3月
予算額/決算額（円）	160,000	124,254
助成金充当額（円）	58,000	58,000
主な事業指標	指標名	「見初だより」掲載団体数（延べ） 等
	目標値/実績値	80団体（延べ） 約120（延べ）
	達成・未達成の要因	【達成】 ・事前に各団体に周知し、原稿等を依頼した。 【未達成】 ・まだまだ地区民が「是非読みたい」と思う「見初だより」になっていない。今後一層の工夫が必要。

実績に伴う評価 1：不十分 2：効果的 3：非常に効果的	地域貢献(課題解決・魅力創出)につながる活動になりましたか	2
	助成金を有効に活用できましたか	3
	多くの住民の参加が得られましたか	2
	今後も事業継続できますか	3